

家庭教育学級＜第1回めばえセミナー＞ 実施報告書

去る6月28日(金)、千歳台小学校多目的室において、令和元年度第1回めばえセミナーを開催いたしました。

今回のセミナーでは、東京消防庁成城消防署千歳出張所の消防士の皆さまをお迎えし、「AEDの使い方 知っていますか？ “子どもを対象とした” 救命措置・応急手当を学ぶ」をテーマに、AEDの使用方法和止血法についてご指導いただき、保護者の皆様にも体験していただきました。当日は、世田谷区教育委員会の飯塚先生と本澤副校長をはじめ48名の会員の皆様にご参加くださいました。

【セミナー内容】

1 AED(自動体外式除細動器)の使い方

AEDを用いた応急手当について説明を受けた後、2～3名ずつ実際に体験しました。



AEDが到着するまで

- ①意識の確認
- ②救助の要請
- ③胸骨圧迫(30回)
- ④人工呼吸(2回) AEDが届くまで③④をくり返します。

AEDが到着したら

- ①電極パッド装着
- ②電気ショック
(電気ショックの必要性はAEDが判断します)

電気ショック以後はAEDの音声メッセージに従います。

2 応急手当：止血法

頭部と腕の止血法について説明を受けた後、2人1組で実践しました。

3 熱中症と水の事故について

熱中症の症状別にどのような対処法があるか、また水の事故に対しては大人の危険予測が重要になることなど説明いただきました。

今回のセミナーでは説明を聞くだけでなく、実習も兼ねていたためより実践的な講習内容であり、実りの多いセミナーとなりました。世田谷区教育委員会飯塚先生や本澤副校長も総括されましたように、このセミナー時だけでは完璧に習得できていない部分もあり、継続的に実践する機会が必要であると思われました。

【アンケート結果(抜粋)】

- 実技もあり、実際に体験してみても出てくる質問などもありとても勉強になりました。またこのようなセミナーがあれば是非参加してみたいです。
- AEDの講習は二度目でしたが、ずいぶん前のことで忘れていたことも多かったです。何度か受講することで自信になると思うので、機会があればまた受けたいと思います。
- AEDの使い方、怪我をした人への対応が理解できました。子どもの体の大きさなど大人と同じで大丈夫なのかと疑問に思っていたことも解決できました。家の近く、職場の近くにあるAEDの場所をこれからチェックしていきたいと思います。

救急や災害情報を提供する公式アプリ「東京消防庁アプリ」では心肺蘇生やAEDの使用方法を見ることができますので参考にしてください。